



肺がん

連携パス手帳

(フォローアップ)

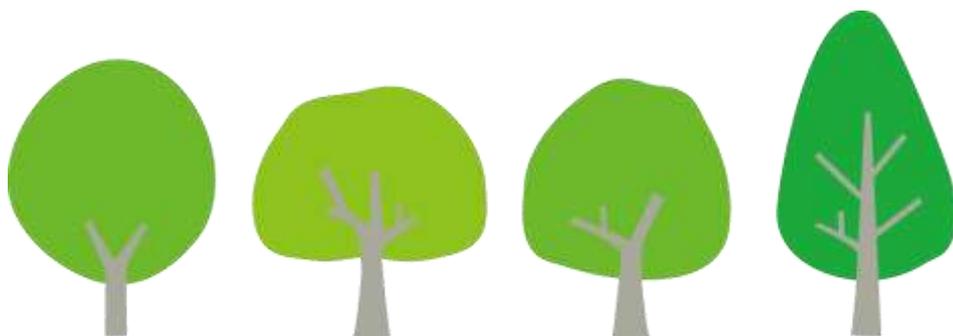


大阪医科薬科大学病院

大阪府がん診療連携協議会

もくじ

はじめに	p3
退院後の日常生活	p4~p5
退院後もこれだけは忘れずに！	p6
あなたが受けた手術について	p7
肺がん術後連携パス	p8~p19
再診予約変更		
大医薬大の部署のご案内	p20~p21



はじめに

【連携パス】とは、地域のかかりつけ医と大阪医科薬科大学病院の医師が、あなたの治療経過を共有できる「治療計画表」のことです。「連携パス」を活用し、かかりつけ医と大阪医科薬科大学病院の医師が協力して、あなたの治療を行います。

この「連携パス」を活用することで、大阪医科薬科大学病院と地域のかかりつけ医とが協力し、患者さんの視点に立った安心で質の高い医療を提供する体制を構築することを目指しています。また、患者さんにとっても長い待ち時間や通院時間の短縮などの負担軽減や、ご自身の治療計画や経過の把握、かかりつけ医の手厚い診療による不安の解消といったメリットにもつながります。

【かかりつけ医があなたのもうひとりの主治医です】

病状が落ち着いているときの投薬や**日常の診療はかかりつけ医が行い、専門的な治療や定期的な検査は大阪医科薬科大学病院が行います**ので、ちょっとしたケガや日常の相談は、まずかかりつけ医にご相談ください。必要に応じて大阪医科薬科大学病院を受診していただきます。また、緊急を要する場合は休日や夜間等かかりつけ医を受診できない場合は、大阪医科薬科大学病院（072-683-1221 代表）までご連絡ください。その際には必ず「肺がん術後地域連携パス」を利用しているとお伝えください。

なお、原疾患（肺がん）と関連がないと考えられる症状については、他の医療機関への受診をお願いすることになりますのでご了承ください。

氏名 _____

ID番号 _____

退院後の日常生活

手術後まだ症状が残っている方もありますが、次第にその症状も回復してきます。

特に胸部の痛み（神経痛のような又は圧迫されるような痛み）は半年～1年位続くことがあります。しかし、人によっては程度の違いはありますが、通常軽快していきますので安心してください。ご家庭に帰られてからは、次のことに注意して下さい。

1. 日常生活

規則正しい生活を心がけましょう。

2. 運動

（ ヶ月）より始めて下さい。最初に始める運動は散歩やウォーキングからにしましょう。

仕事への復帰やはげしい運動（テニス・ゴルフ・ジョギングなど）は医師との相談が必要です。

退院時に目安となるパンフレットをお渡しします。

それに加え外来時にその都度相談しましょう。

3. 作業

（ ヶ月）位より軽労作業に従事できるようになりますが、復職については医師と相談してください。

4. 睡眠

一日約6～8時間取るようにして下さい。

5. 禁煙

タバコは今後の経過に支障があります。このまま禁煙を続けて下さい。

6. 清潔

チューブが入っていたところの抜糸は退院後の外来になることがあります。退院前日に抜糸が終了していない方は医師もしくは看護師に退院後のシャワー浴とガーゼ交換について相談して下さい。

(絆創膏の交換だけで消毒が不要な場合もあります。)

絆創膏交換絆創膏交換の必要物品必要物品

防水の絆創膏・イソジン消毒薬・
滅菌綿棒

絆創膏交換絆創膏交換の方法

1. 防水絆創膏をはがし傷口の観察をしてください。
2. イソジン消毒液に滅菌綿棒をつけます。
3. 傷口の真ん中から外側に円を描くように消毒をします。
4. イソジン消毒液が乾燥してから新しい防水絆創膏を貼ります。
 - ・使用した滅菌綿棒をイソジン消毒液につけないようにしましょう。2度漬け禁止です！
 - ・傷口に赤み・腫れ・ほてり・膿が出るなどの症状があれば、外来で医師に相談して下さい。

傷口やチューブが入っていたところのかさぶたは自然にはがれるのを待ちましょう。

7. その他

- 1) 風邪を引かないように十分注意して、外出より帰宅時はうがいをしましょう。
- 2) 高カロリー、高蛋白でバランスのよい食事をとりましょう。
- 3) 衣服は深呼吸が十分できるように胸やお腹をしめつけないものにしましょう。
- 4) 痛みのある方は傷を冷やさないようにして下さい。
入浴や温湿布は痛みに対して有効です。



退院後もこれだけは忘れずに！

☆ 定期的な診察や検査に行きましょう

手術後 5 年を目途に、定期的な診察や検査を行います。診察や検査の間隔は、手術後の状態によって異なりますから、医師の指示通り、決められた日に診察や検査を受けるようにしてください。なお、定期検査は肺がんを対象としているものです。他の病気をカバーするものではありません。

☆ 毎月 1 回、自己検診を続けましょう

どんな病気でも早期に発見して、早期に治療することが大切です。毎月 1 回、日を決めて、ご自分で症状をチェックしてください。気になるところがあったら、医師に相談してください。

☆ 指示された薬は忘れずに服用しましょう

病院で処方された薬は、消化薬や化学療法剤で、手術後の状態を安定させるためや手術の治療効果を高めるために必要なものです。薬を服用するように医師から指示された場合には、指示された通りに忘れずに正しく服用してください。

副作用がある場合には、医師に申し出てください。

☆ 悩んでいるのはあなただけではありません

あなたが安心して治療や検査を続けていくためには、家族とともに医師や看護師とのコミュニケーションをよくし、一緒にこの病気と闘っていく気持ち大切です。

まだまだ不安や悩みがあると思いますが、あなたと同じ 経験をされた患者さんはたくさんいらっしゃいます。そして、その多くの方が、病気を克服し、充実した人生を送っていることを忘れないでください。決して自分のからに閉じこもってしまわないように、明るく、希望を持って前進し、病気をしておかえって良かったと思われるような建設的な生活を送ってください。

あなたが受けた手術について

【あなたが手術を受けた日】

平成 年 月 日

【診断について】

- 1、非小細胞肺癌
- 2、組織型：
- 3、進行度（病理病期）： Stage I A（腫瘍径2cm以上）、
Stage I B

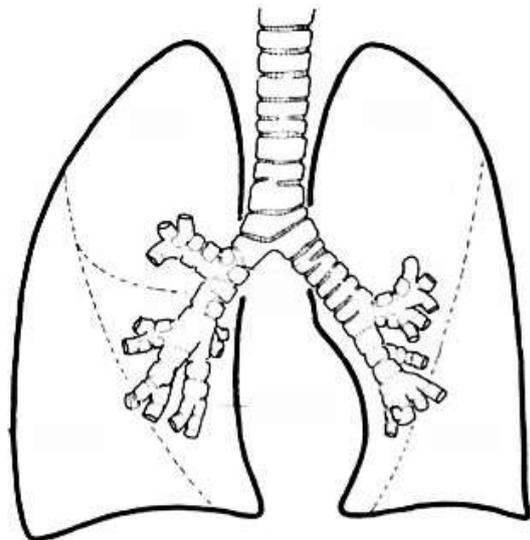
T：

N：

M：

【受けた手術】

- 肺部分切除術
- 肺区域切除術
- 肺葉切除術
- リンパ郭清術



肺がん術後連携パス(1～6ヶ月)

		大医薬大	かかりつけ医	かかりつけ医	
		1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	
		月 日			
診察	呼吸状態		○		
	胸部所見		○		
採血	血算・生化学		○		
	CEA・CYFRA		○		
検査	胸部レントゲン検査		○		
	胸部CT検査				
	頭部C又T検査はMRI検査				
投薬	一般薬				
自己検診	息苦しさの チェック	胸の痛み			
		せき			
		たん			
		呼吸困難			
	それ以外の チェック	体重			
		発熱			
	その他				

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

○は必須項目 △は必要時に行います

大医薬大	かかりつけ医	かかりつけ医	～ メ モ ～
4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	
月 日			★ 定期受診日以外でも必要があれば受診 ★キズのチェックで当初は、2週間ごとに受診してもらう場合があります。
○			
○			
○			
○			
○			

肺がん術後連携パス(7ヶ月～1年)

		大医薬大	かかりつけ医	かかりつけ医	
		7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	
		月 日			
診察	呼吸状態		○		
	胸部所見		○		
採血	血算・生化学		○		
	CEA・CYFRA		○		
検査	胸部レントゲン検査		○		
	胸部CT検査				
	頭部CT検査又はMRI検査				
投薬	一般薬				
自己検診	息苦しさの チェック	胸の痛み			
		せき			
		たん			
		呼吸困難			
	それ以外の チェック	体重			
		発熱			
	その他				

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

○は必須項目 △は必要時に行います。

大医薬大	かかりつけ医	かかりつけ医	～ メ モ ～
10ヶ月	11ヶ月	1年	
月 日			★ 定期受診日以外でも必要があれば受診
○			
○			
○			
○			
○			

肺がん術後連携パス(1年～1年6ヶ月)

		大医薬大		～メモ～ ★ 定期受診は5年目まで ★ 定期受診日以外でも必要があれば受診
		1年6ヶ月		
		月	日	
診察	呼吸状態		○	
	胸部所見		○	
採血	血算・生化学		○	
	CEA・CYFRA		○	
検査	胸部レントゲン検査		○	
	胸部CT検査			
	頭部CT検査又はMRI検査			
投薬	一般薬			
自己検診	息苦しさのチェック	胸の痛み		
		せき		
		たん		
		呼吸困難		
	それ以外のチェック	体重		
		発熱		
その他				

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

肺がん術後連携パス(1年7ヶ月～2年)

○は必須項目 △は必要時に行います

		大医薬大	～メモ～ ★ 定期受診は5年目まで ★ 定期受診日以外でも必要があれば受診
		2年	
		月 日	
診察	呼吸状態	○	
	胸部所見	○	
採血	血算・生化学	○	
	CEA・CYFRA	○	
検査	胸部レントゲン検査	○	
	胸部CT検査	○	
	頭部CT検査又はMRI検査		
投薬	一般薬		
自己検診	息苦しさのチェック	胸の痛み	
		せき	
		たん	
		呼吸困難	
	それ以外のチェック	体重	
		発熱	
その他			

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

肺がん術後連携パス(2年～2年6ヶ月)

○は必須項目 △は必要時に行います

		大医薬大	～メモ～ ★ 定期受診は5年目まで ★ 定期受診日以外でも必要があれば受診
		2年6ヶ月	
		月 日	
診察	呼吸状態	○	
	胸部所見	○	
採血	血算・生化学	○	
	CEA・CYFRA	○	
検査	胸部レントゲン検査	○	
	胸部CT検査		
	頭部CT検査又はMRI検査		
投薬	一般薬		
自己検診	息苦しさのチェック	胸の痛み	
		せき	
		たん	
		呼吸困難	
	それ以外のチェック	体重	
		発熱	
その他			

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

肺がん術後連携パス(2年7ヶ月～3年)

○は必須項目 △は必要時に行います

		大医薬大	～メモ～ ★ 定期受診は5年目まで ★ 定期受診日以外でも必要があれば受診
		3年	
		月 日	
診察	呼吸状態	○	
	胸部所見	○	
採血	血算・生化学	○	
	CEA・CYFRA	○	
検査	胸部レントゲン検査	○	
	胸部CT検査	○	
	頭部CT検査又はMRI検査		
投薬	一般薬		
自己検診	息苦しさのチェック	胸の痛み	
		せき	
		たん	
		呼吸困難	
	それ以外のチェック	体重	
		発熱	
その他			

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

肺がん術後連携パス(3年～3年6ヶ月)

○は必須項目 △は必要時に行います

		大医薬大		～メモ～ ★ 定期受診は5年目まで ★ 定期受診日以外でも必要があれば受診
		3年6ヶ月		
		月	日	
診察	呼吸状態		○	
	胸部所見		○	
採血	血算・生化学		○	
	CEA・CYFRA		○	
検査	胸部レントゲン検査		○	
	胸部CT検査			
	頭部CT検査又はMRI検査			
投薬	一般薬			
自己検診	息苦しさのチェック	胸の痛み		
		せき		
		たん		
		呼吸困難		
	それ以外のチェック	体重		
		発熱		
その他				

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

肺がん術後連携パス(3年7ヶ月～4年)

○は必須項目 △は必要時に行います

		大医薬大	～メモ～ ★ 定期受診は5年目まで ★ 定期受診日以外でも必要があれば受診
		4年	
		月 日	
診察	呼吸状態	○	
	胸部所見	○	
採血	血算・生化学	○	
	CEA・CYFRA	○	
検査	胸部レントゲン検査	○	
	胸部CT検査	○	
	頭部CT検査又はMRI検査		
投薬	一般薬		
自己検診	息苦しさのチェック	胸の痛み	
		せき	
		たん	
		呼吸困難	
	それ以外のチェック	体重	
		発熱	
	その他		

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

肺がん術後連携パス(4年～4年6ヶ月)

○は必須項目 △は必要時に行います

		大医薬大	～メモ～ ★ 定期受診は5年目まで ★ 定期受診日以外でも必要があれば受診
		4年6ヶ月	
		月 日	
診察	呼吸状態	○	
	胸部所見	○	
採血	血算・生化学	○	
	CEA・CYFRA	○	
検査	胸部レントゲン検査	○	
	胸部CT検査	○	
	頭部CT検査又はMRI検査		
投薬	一般薬		
自己検診	息苦しさのチェック	胸の痛み	
		せき	
		たん	
		呼吸困難	
	それ以外のチェック	体重	
		発熱	
その他			

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

肺がん術後連携パス(4年7ヶ月～5年)

○は必須項目 △は必要時に行います

		大医薬大	～メモ～ ★ 定期受診は5年目まで ★ 定期受診日以外でも必要があれば受診
		5年	
		月 日	
診察	呼吸状態	○	
	胸部所見	○	
採血	血算・生化学	○	
	CEA・CYFRA	○	
検査	胸部レントゲン検査	○	
	胸部CT検査	○	
	頭部CT検査又はMRI検査		
投薬	一般薬		
自己検診	息苦しさのチェック	胸の痛み	
		せき	
		たん	
		呼吸困難	
	それ以外のチェック	体重	
		発熱	
その他			

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう

大阪医科薬科大学病院の部署のご案内



再診予約変更

消化器外科外来に電話してください。
午後3～4時の間に予約の取り消しや変更を承ります。
なお、検査によっては予約の変更はできませんので、
その場合は、直接来院のうえ、ご変更ください。

電話番号：072-683-1221（代）（内線2341）

がん相談支援室

患者さんが病院に対する安心感と信頼感を持って療養に専念していただけるようにがん相談支援室にてがんに関する相談をお受けしております。

当院に入院・通院されている患者さん・家族の方が安心して温かな医療・看護が受けられるよう、医師または看護師など院内のスタッフとの連携はもとより、地域の医療・保健・福祉などの各機関と協働・連携をとりながら、より満足度の高い療養生活と充実した日々を送っていただけるように支援を行っています。

相談時間

月曜日～金曜日 9:00～16:00

第1・3・5土曜日 9:00～12:00

（但し当院の休診日はお受けしておりません。）

予約方法

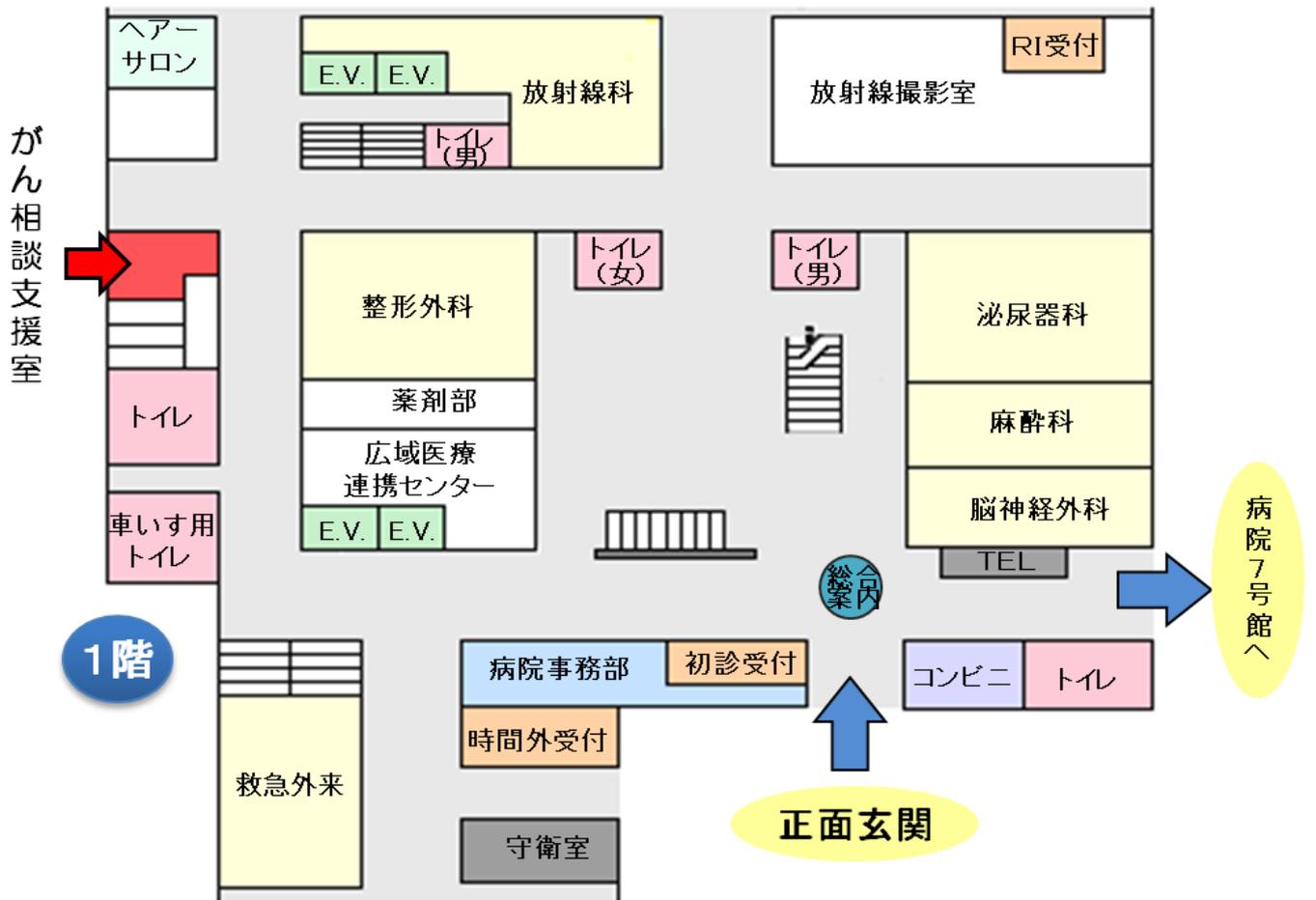
電話またはFAXにてお申し込みください。

電話：072-683-1221（代表） 内線2095

FAX：072-684-6221

※予約優先としますが、予約がない場合でも時間に空きがあればお受けしております。





名前 _____

ID番号 _____



大阪医科薬科大学病院

(消化器外科)

TEL 072-683-1221 (代) (内線2341)

24年 5月作成
25年 9月改定